

## 臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

### **【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】**

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3543-6391（代表）

担当者の所属・氏名：聖路加国際大学大学院研究科修士課程 周麻酔期看護学専攻  
梅野佑紀（うめの ゆき）

### **【研究責任者】**

聖路加国際大学大学院研究科修士課程 周麻酔期看護学専攻 梅野佑紀（うめのゆき）

指導教員：聖路加国際大学 周麻酔期看護学 特任教授 宮坂勝之

聖路加国際大学 周麻酔期看護学 中田諭

# 術前麻酔科外来を受診された方を対象とした

## 歯科受診と周術期等専門的口腔衛生処置に関する研究

### 1. 研究の対象

2018年2月～2018年7月の間、当院にて全身麻酔下での手術が予定されており、術前麻酔科外来を受診された方が対象となります。

### 2. 研究の目的・方法

全身麻酔下では自発呼吸が抑制され、人工呼吸管理が必要となります。気管挿管を行う際には、喉頭鏡を用いた処置による歯牙の損傷や肺炎などの合併症が生じるとされています。わが国では2012年に、がん等に係る手術を実施される患者さんに対し、患者さんの口腔衛生状態の向上を目的として、術前から口腔機能管理を行うことで口腔粘膜や歯牙の損傷、肺炎などの術後合併症を軽減させるために、周術期口腔機能管理料が保険収載されました。更に、2018年診療報酬の改定では、周術期口腔機能管理料は周術期等口腔機能管理料と改名され、整形外科や脳外科領域など保険対象となる患者さんの適応拡大と診療体制の明確化がなされました。このような状況を踏まえ、2018年診療報酬改定前後の術前麻酔科外来を受診した周術期患者さんの疾病や口腔衛生状態、口腔衛生処置を調査・検討することで、専門的な口腔管理を必要とする患者さんに対する麻酔と口腔機能の関連性の周知に寄与すると考えます。

【目的】本研究の目的は、2018年度周術期等口腔機能管理料の診療報酬改定に伴う保険対象となる患者の拡大や周術期口腔機能管理体制の変更が周術期患者や医療従事者にもたらした影響を検討することである。2018年度診療報酬改定に伴い、単一施設で導入された術前麻酔科外来での歯科衛生士常駐と歯科口腔外科との連携体制に着目し、新体制導入前後で歯科受診率及び周術期等専門的口腔衛生処置の状況がどのように変化したかなどを検討する。そして、歯科受診に繋がる疾病の特徴の変化について、周術期患者の疾病と口腔衛生状態との関係を探索することで、周術期口腔機能管理を必要とする潜在的適応者となる患者特性についても検討する。

【方法】全身麻酔下で手術が予定され、術前麻酔科外来を受診された方の診療録や看護記録をもとに、既存する情報を分析する研究を行います。尚、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。情報データを基に、2018年診療報酬改定前後で歯科受診された保険対象となる患者さんと保険対象外となる患者さんを比較し、周術期等口腔機能管理を必要とする患者さんの特性及び口腔衛生状態を分析することで潜在的な需要を明らかにします。

調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2019年3月31日までの予定です。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》 カルテ番号、病歴（現病歴、既往）、手術及び麻酔に関する情報、  
歯科口腔外科受診及び処置内容 等